

令和4年5月31日（火）

COVID-19のための感染管理研修会
（高齢者介護施設）

COVID-19の感染予防対策

滋賀県健康医療福祉部感染症対策課

淡野 睦

本日のおはなし

- 1・ 日常からの感染対策
- 2・ 個人防護具（PPE）について
- 3・ ゾーニングとは
- 4・ 陽性者が発生した時の初動
- 5・ おわりに

1・日常からの感染対策

職員の健康観察

オミクロン株の2～3割は無症状陽性者



知らない間に広がってしまう可能性が高い

日頃からの健康観察がとても重要

1・熱だけでなく自覚症状も重要項目

➡ のどの痛み・声枯れなどの風邪症状

➡ 鼻がぐずぐず・鼻汁などの花粉症症状

2・有症状者の連絡体制・受診体制を考えておく

3・無理して出勤しない。出勤体制の検討をしておく



標準予防策

感染症の有無にかかわらず、利用者全ての方におこなう行う予防策

1・手指衛生



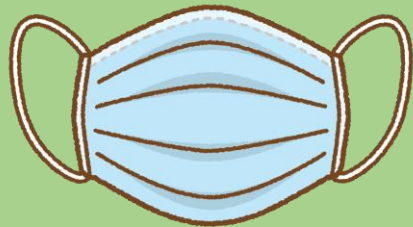
2・適切な
ヒトの配置



3・環境清掃



4・咳エチケット



5・個人防護具
の着用

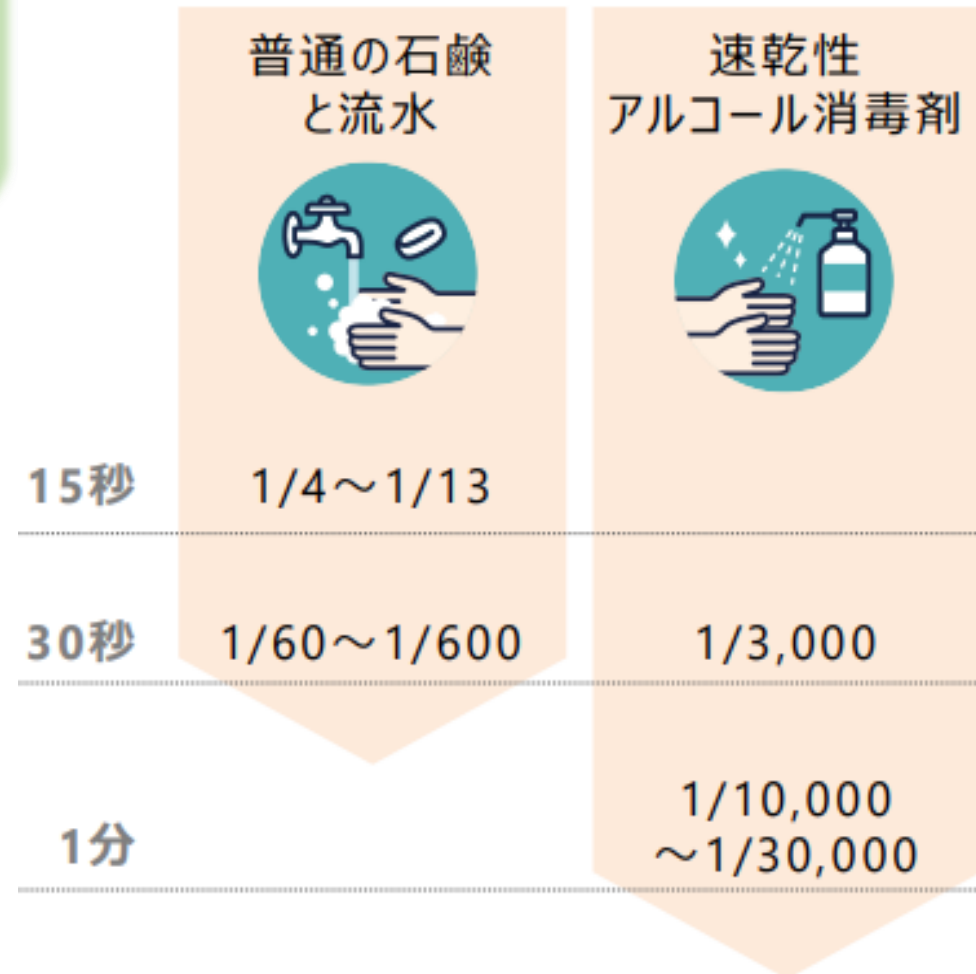


最も一般的な病原微生物の
伝播・感染経路は・・・

医療者・介護者の「手である！」

1. COVID-19にアルコール消毒は有用
(アルコール度数 70%以上)
2. アルコール消毒は必要量しっかり押し
しっかり擦りこむ
3. 目に見える汚染は流水手洗い
4. タオルを共有しない

手洗いによる細菌やウイルスの減少効果



5つのタイミング（WHO推奨）

①患者への接触前

1

- ・握手の前
- ・移動などの介助の前
- ・入浴や清拭の前

②清潔操作の前

- ・口腔ケアの前
- ・食事準備の前



④患者への接触後

4

- ・握手の後
- ・移動などの介助の後
- ・入浴や清拭の後

③血液・体液に曝露されたおそれがあるとき

3

- ・口腔ケアの後
- ・痰や唾液を拭き取った後
- ・尿、糞便、嘔吐物の処理をした後（ナプキン、尿漏れパッド）
- ・汚染箇所の掃除をした後（トイレ、医療機器）

⑤患者周囲環境への接触後

5

- ・ベッドリネンの交換の後
- ・ナースコールや離床センサーを確認した後
- ・ベッド柵をつかんだ後
- ・テーブルを掃除した後
- ・カーテンを閉めた後

STEP 1 石けん液による手洗い手順



1 まず手指を
流水でぬらす



2 石けん液を適量
手の平に取り出す



3 手の平と手の平を
擦り合わせよく泡立てる



4 手の甲を もう片方の
手の平で もみ洗う (両手)



5 指を組んで 両手の
指の間を もみ洗う



6 親指を もう片方の
手で包み もみ洗う (両手)



7 指先を もう片方の
手の平で もみ洗う (両手)



8 両手首まで
ていねいにもみ洗う



9 流水でよくすすぐ

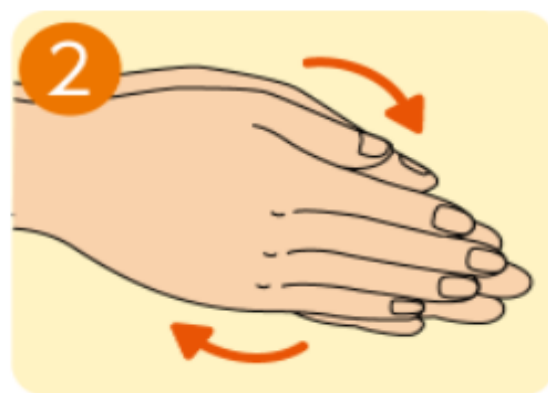


10 ペーパータオルで
よく水気を拭き取る

手指消毒手順（アルコールジェル）



ジェル状の速乾性手指消毒剤を適量手のひらに受け取る



手の平と手の平と擦り合わせる



指先、指の背をもう片方の手の平で擦る（両手）



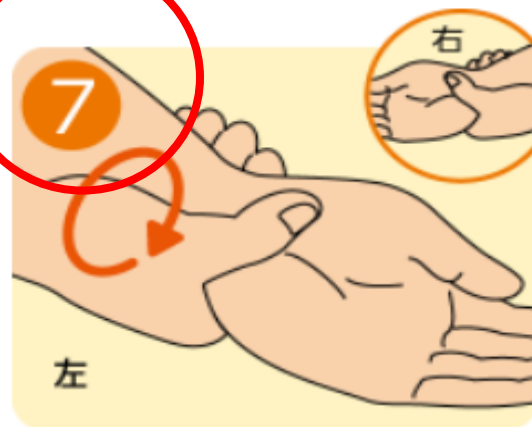
手の甲をもう片方の手の平で擦る（両手）



指を組んで両手の指の間を擦る



親指をもう片方の手で包みねじり擦る（両手）



両手首までていねいに擦る



乾くまで擦り込む

手あれの原因と対策

- ☑ 始業前にハンドクリームで保護
- ☑ 手洗い後水分はしっかり拭き取る
- ☑ 手洗い後乾燥していないうちにアルコール消毒しない
- ☑ お湯ではなくぬるま湯で洗う
- ☑ 栄養バランスのよい食事、十分な睡眠
ストレスの発散、解消（適度な息抜き）



標準予防策① 手指衛生



とはいえ、安全面など考えると消毒の設置や利用者へのお願いって難しいのよね・・・

その1

液体アルコール消毒ではなく、アルコールティッシュを使う

その2

利用者の手の届かない高い位置に設置

その3

アルコール消毒を首からぶら下げ、服の中に隠し、触られないようにする

その4

介護者がアルコール消毒を手に取り、利用者の手に擦りこむ



標準予防策② 適切なヒトの配置

利用者

リクレーションや食事座席の配置による交差でクラスターや濃厚接触者認定が発生事例多数あり

平時から工夫が必要！

リクレーション

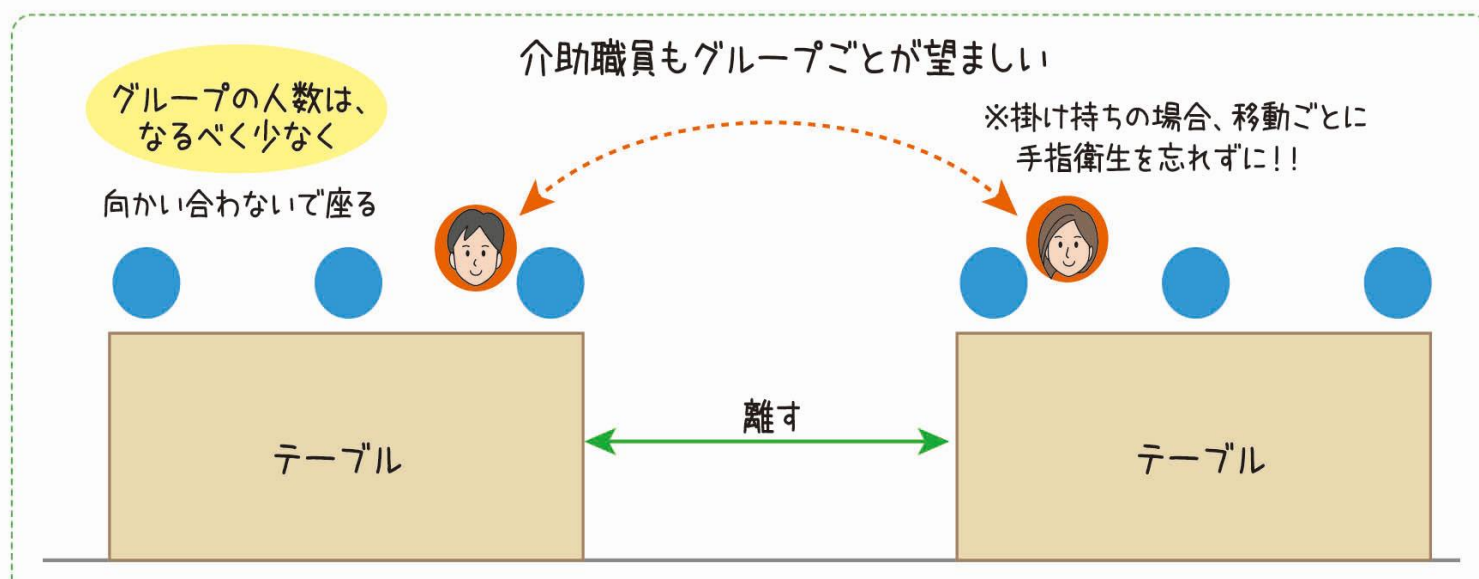
- 1・ 利用者間のヒト、モノが交差しない工夫
- 2・ 大声で歌わない
- 3・ 一方向に向く。対面しない。

標準予防策② 適切な利用者の配置

食事

利用者の配置

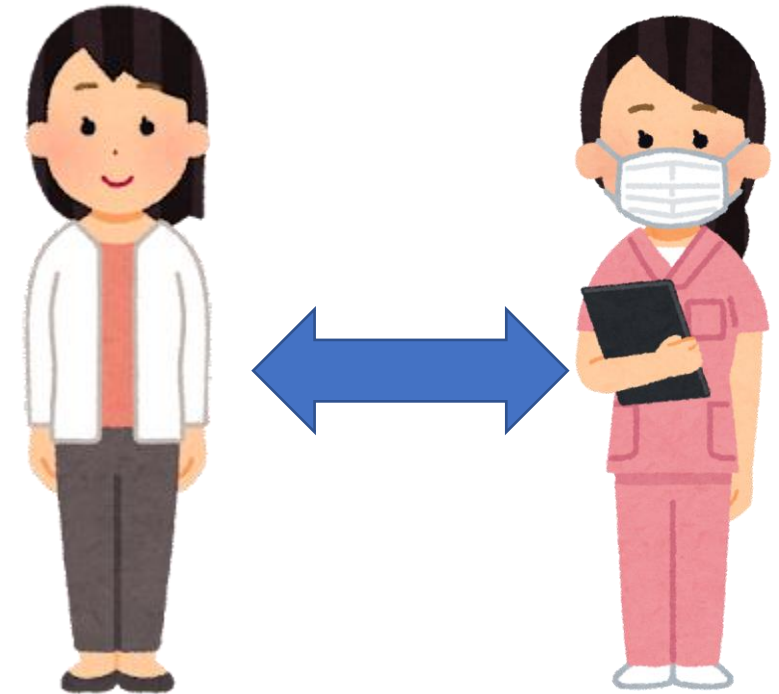
- ☑ 最少人数
- ☑ 利用者同士が対面しない（一方向もしくは斜め）
- ☑ パーテンションを使用するのであれば、清掃方法も検討しておく



標準予防策② 適切なヒトの配置

スタッフの配置

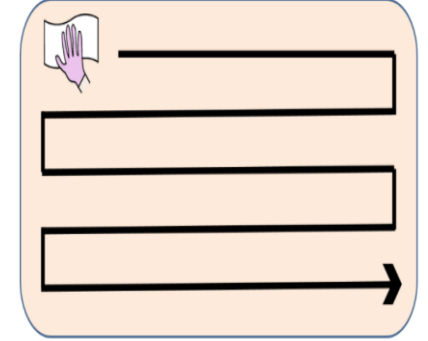
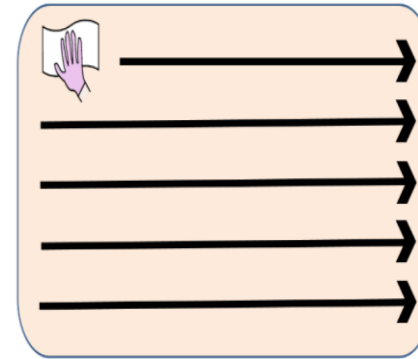
- ☑ 食事介助時は利用者と横ならび
- ☑ 通勤用と仕事用の服は変える
- ☑ 食事は壁向きで少人数。黙食
- ☑ 更衣室は最少人数
 - ➡ 手すりやドアノブの定期清掃



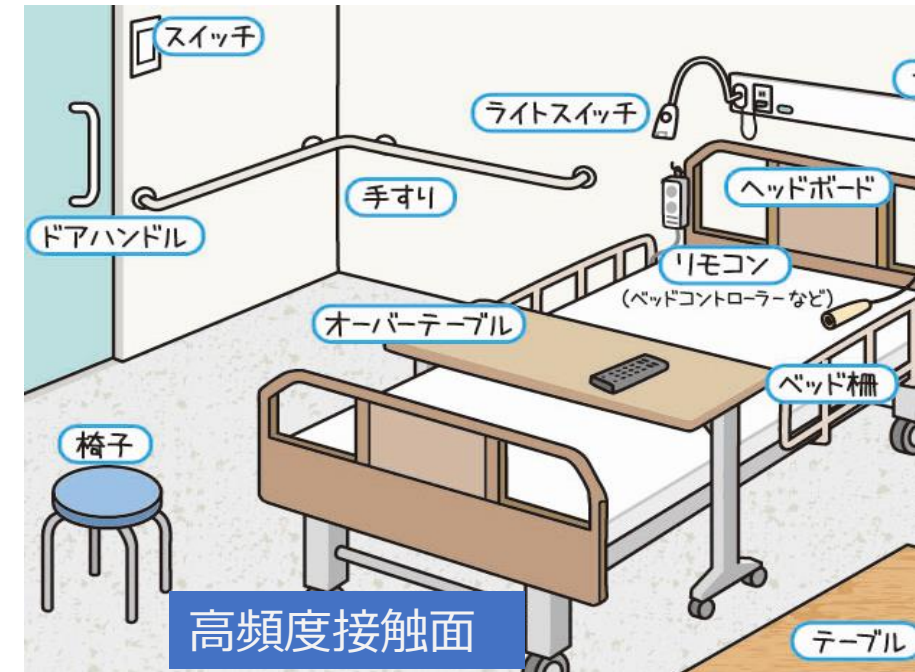
標準予防策③

環境清掃

- ✓ 高頻度接触面の定期的清掃
 - 1) 1回/日 以上
 - 2) 清掃時はかならず換気
 - 3) 拭く時は一方向もしくはS字



- ✓ 床は定期清掃
- ✓ アルコールや次亜塩素酸ナトリウム希釈消毒は噴霧しない



標準予防策④ 咳エチケット

マスク装着 = 飛沫感染予防対策

正しいサージカルマスクの装着

1. プリーツは下向きに
2. ノーズクリップを自分の鼻の形にフィットさせる
3. プリーツを伸ばし、顎までしっかり覆う
4. マスクを触った後はアルコール手指消毒
5. 勤務中はサージカルマスク



鼻出しマスク



顎マスク

標準予防策④ 咳エチケット

サージカルマスクの構造

不織布3層構造で、細菌・微粒子バリア性と液体バリア性に優れています。

外側・内側 (スパンボンド不織布)

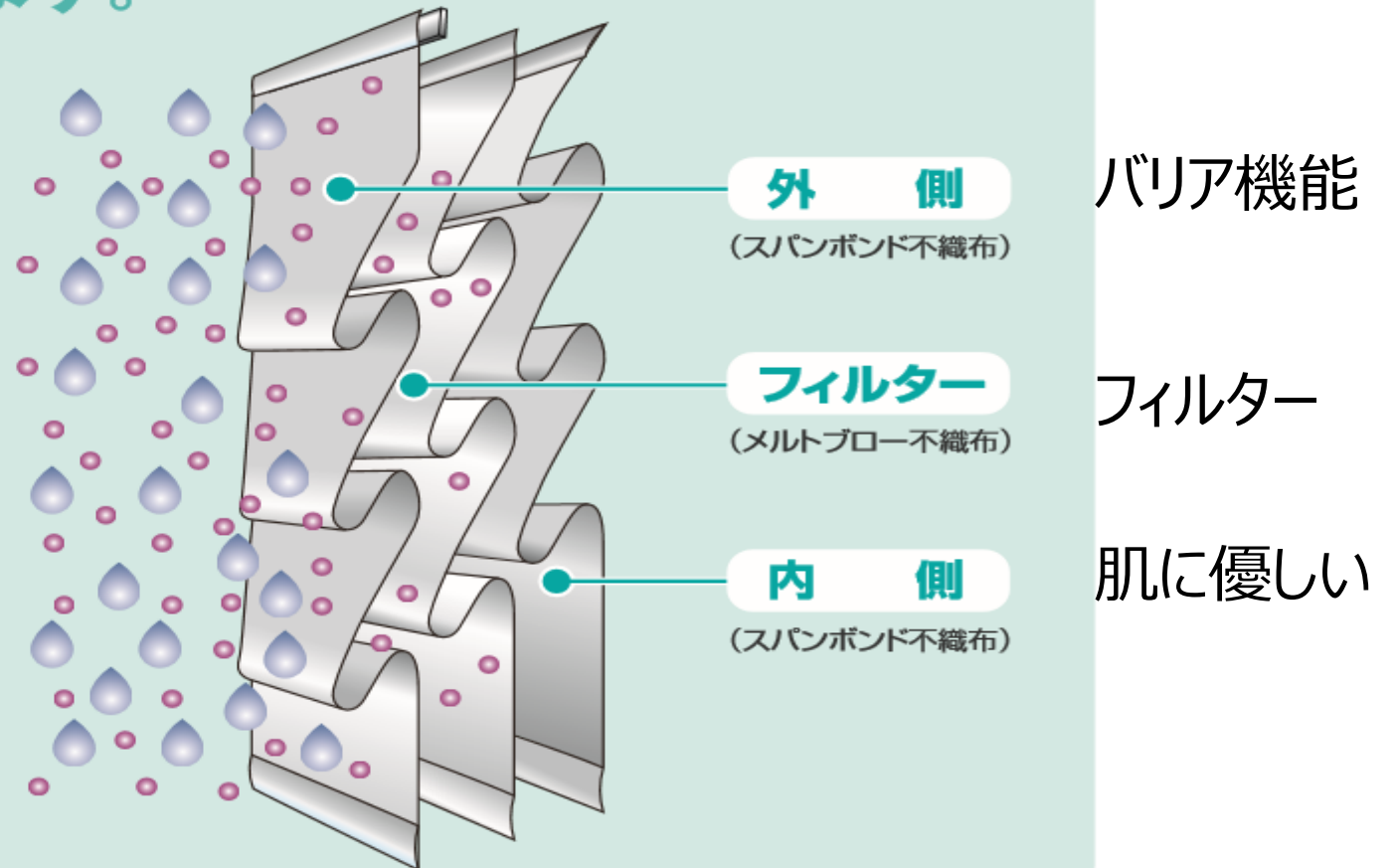
軽くて強度がある不織布を使用。液体バリア性が高く、血液・体液等の湿性生体物質や細菌・微粒子の侵入を防ぎます。顔にふれても毛羽立たないすべすべした肌触りです。

フィルター (メルトブロー不織布)

軽くてフィルター性能の高い極細繊維を使用しています。

素材: ポリプロピレン不織布 (本体、フィルター)
ポリエステル (イヤープンド)
ポリエチレン (ノーズピース)

サイズ (フリーサイズ): W175mm×H95mm
(Sサイズ): W145mm×H95mm



標準予防策④ 咳エチケット

マスクのウイルス捕集効果



標準予防策⑤ 個人防護具 (PPE)

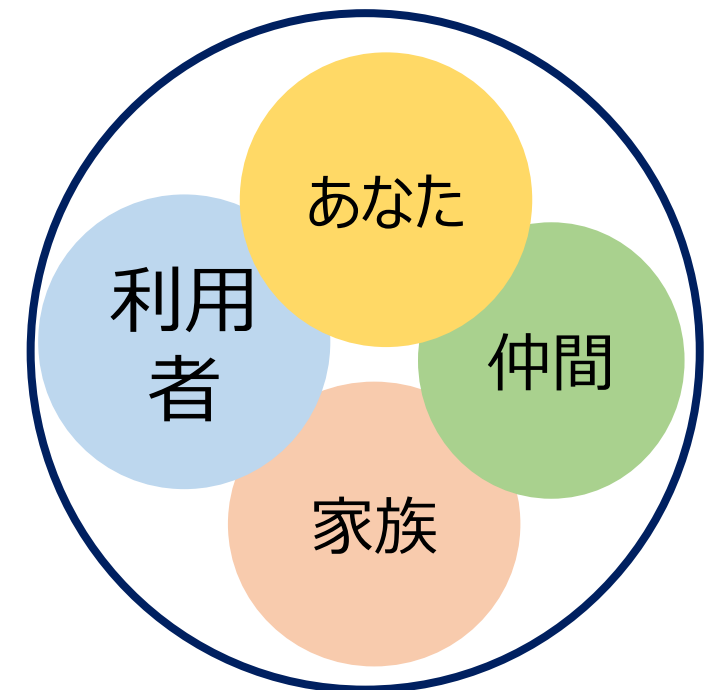
なぜ必要か？

1. 利用者を感染から守る
2. スタッフ自身を、血液・体液・分泌液・排泄物の曝露から守る



着ていれば安心ではない。
着ているからこそ、むしろ危険

適切な着脱が必要



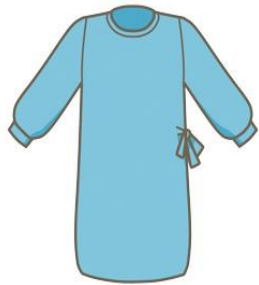
2・個人防護具（PPE）について

個人防護具（PPE）の種類

ケアの内容に合わせて正しく選択する



ガウン



体や服を
守る

手袋



手を守る

フェイス
シールド



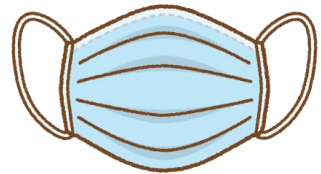
目を守る

キャップ



髪を守る


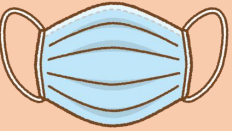
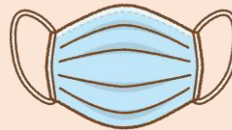
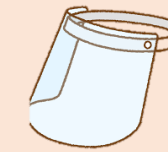
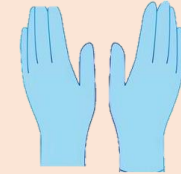
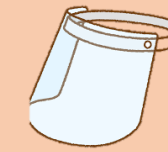
N95マスク
サージカル
マスク



口や鼻を
守る

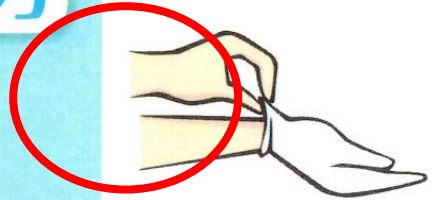
ケア時の個人防護具（PPE）

フェイスシールドやゴーグルなどの目の保護具は日常からの装着をお勧めします

	マスク	フェイスシールド	手袋	アルコール消毒
食事介助				
入浴介助				
おむつ交換				
各ケア見守り				

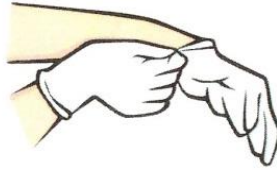
手袋のつけ方と外し方

着け方 ①



手袋の手首の部分をつかんで
はめる

②



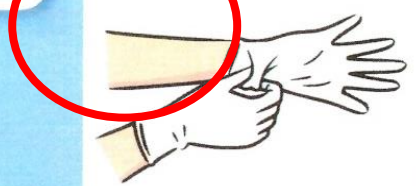
反対の手も ① 同様に
手袋を着用する

point

- 素手で手袋表面に触れないこと
- 手袋を外した後
手指衛生を行うこと

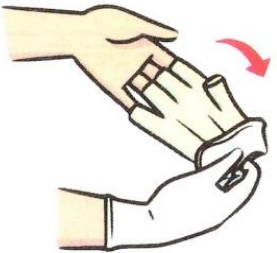


外し方 ①



片方の手袋の
袖口をつかむ

②



手袋を裏表逆
になるように外す

③



手袋を外した手を反対の
手袋の袖口に差し込む

④



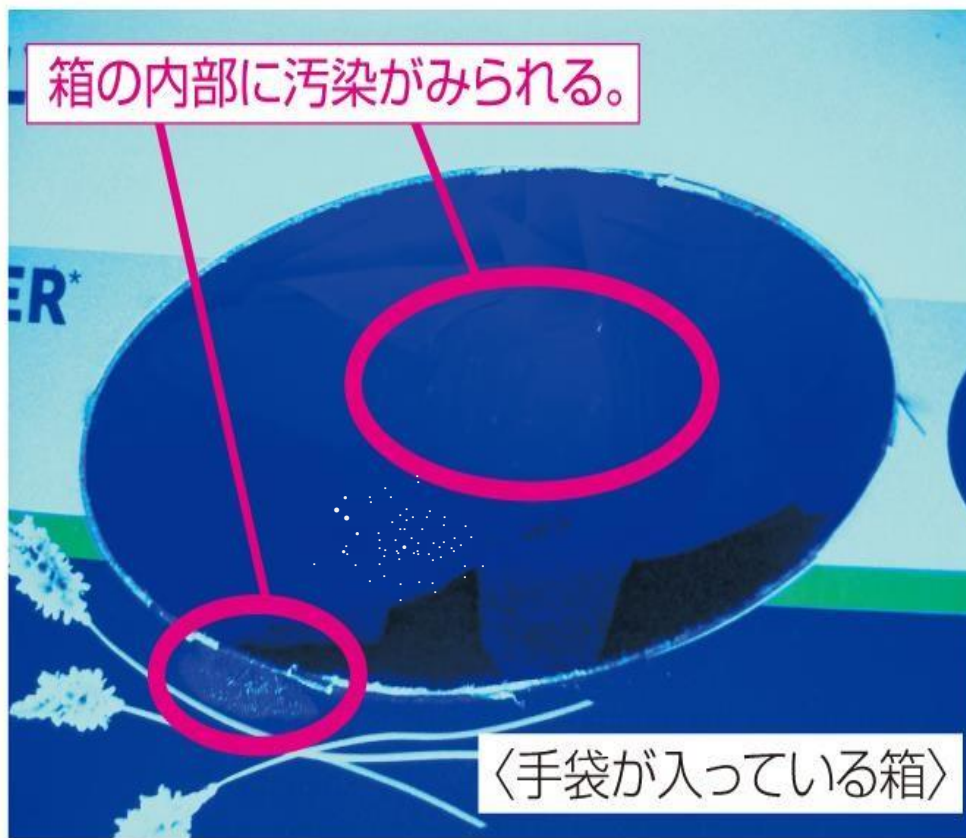
手袋を裏表逆
になるように外す

手指消毒をせず手袋を着けると・・・



その都度消毒することが必要！

手指衛生を行わずに手袋を取り出すと……



安全なマスクの着け方と外し方

着け方

point

鼻と口、あごまで
きちんと覆う!



1 ノーズピース部分に
折り目をつける



2 ゴムヒモを耳にかける



3 針金を顔の形に合わせる



4 蛇腹をあごの下まで
伸ばし鼻と口を覆う

外し方



1 表面に触れないように
ゴムヒモを外す



2 表面に触れないように
ゴムヒモを持って捨てる

point

- マスクの表面に触れないように外して、捨てる!
- マスクを外した後手指衛生を行う
- 衛生的に使用するため、適時交換する



袖付きガウンの着用手順

①ガウンを広げて首にかける



②袖を通す



③後ろの紐をしっかりと結ぶ

注：紐は必ず後ろで結び
前では結ばないこと



袖付きガウンの脱ぐ手順

1枚目
の手袋
を脱ぐ



首元に触れない
ように注意



汚染された手袋や
ガウン同士は触って
OK



首と背中
のひもをペアに
ほどいてもらう

肩をずらし
前に垂らす

手袋も一緒に
片袖を脱ぐ



手袋を脱いだ手で
ガウンの表面を
触らない



身体から遠い
所で巻き取る



両方の袖を脱ぐ

ガウンを内側
にくるくると巻く

小さくまとめ
破棄



手指消毒
忘れない!

フェイスシールドの外し方

[フェイスシールド]



後頭部のゴムをもって外し破棄



手指アルコール消毒



外すときは前面を触らない

個人防護具を着る手順



グリーンゾーンで
着る

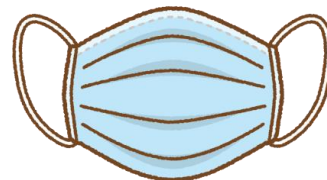
手指衛生

ガウン

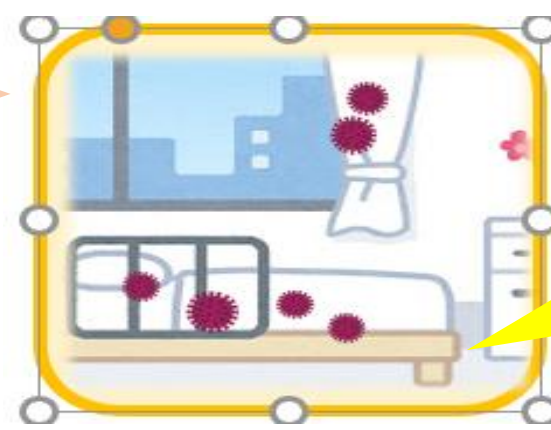
サージカル
マスク

フェイス
シールド

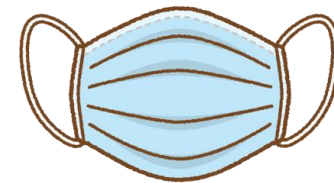
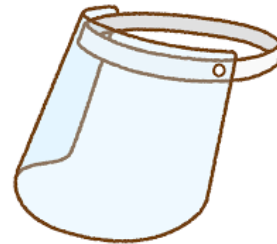
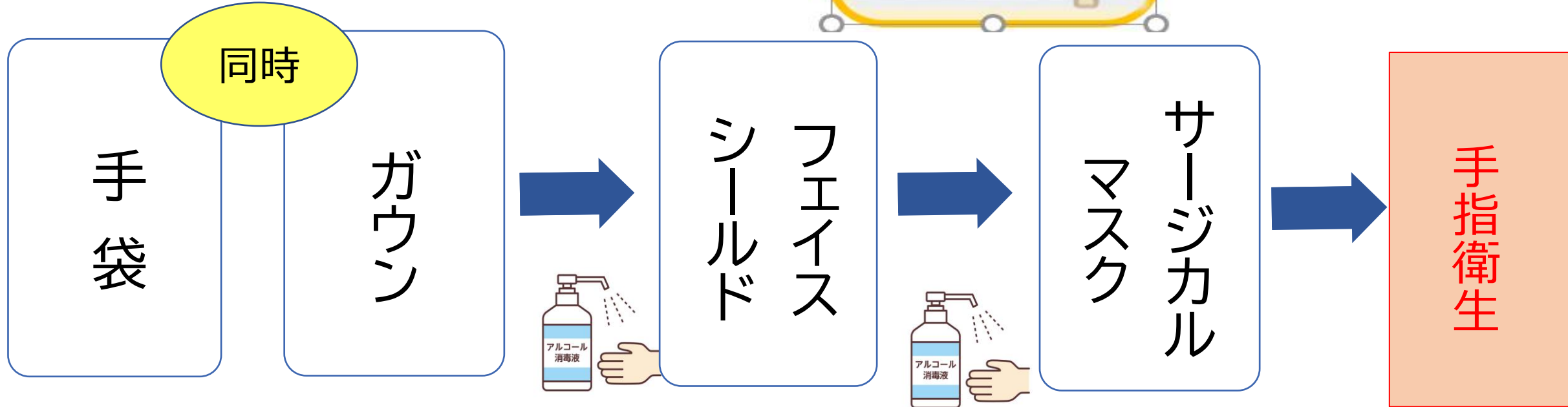
手袋



個人防護具を脱ぐ手順



必ずイエロー
ゾーンで脱ぐ



それでは、実際にやってみましょう！



3・ゾーンニングとは

ゾーニングとは？

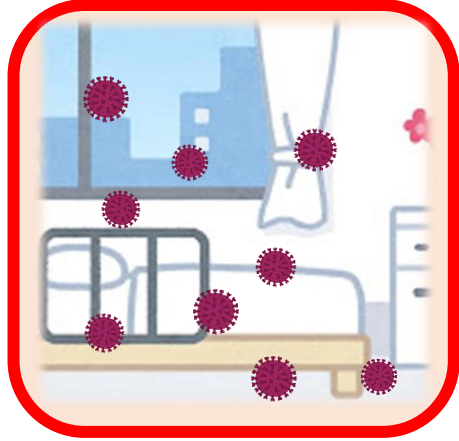
- 1・ウイルスのない**清潔区域**と、ウイルスによって汚染されている**汚染区域**を適切に区別すること
- 2・ゾーニングの区別は陽性者数などによりその都度作り変える

ゾーニングの目的

- 1・ 清潔・不潔を区別することで、安全なケアを提供できる
- 2・ 感染拡大を防ぐ
- 3・ 2次感染、3次感染を防ぐ
 - ☑ 職員を守る
 - ☑ 職員の家族を守る

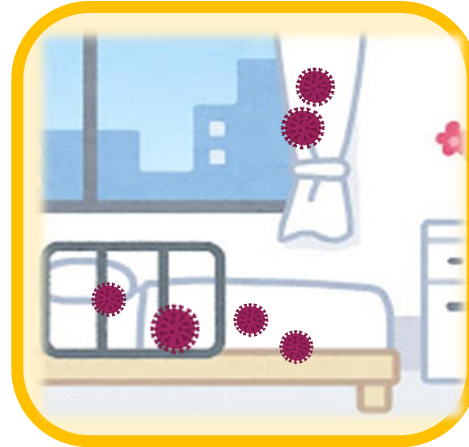
エリアの定義

レッドゾーン



空気中や環境に
ウイルスが存在

イエローゾーン



空気にウイルスが存在しないが
環境にはウイルスが存在

グリーンゾーン

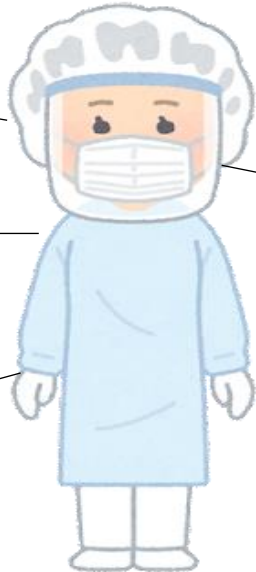


空気中にも環境にウイルスが
存在しない

アイシールド

ガウン

手袋



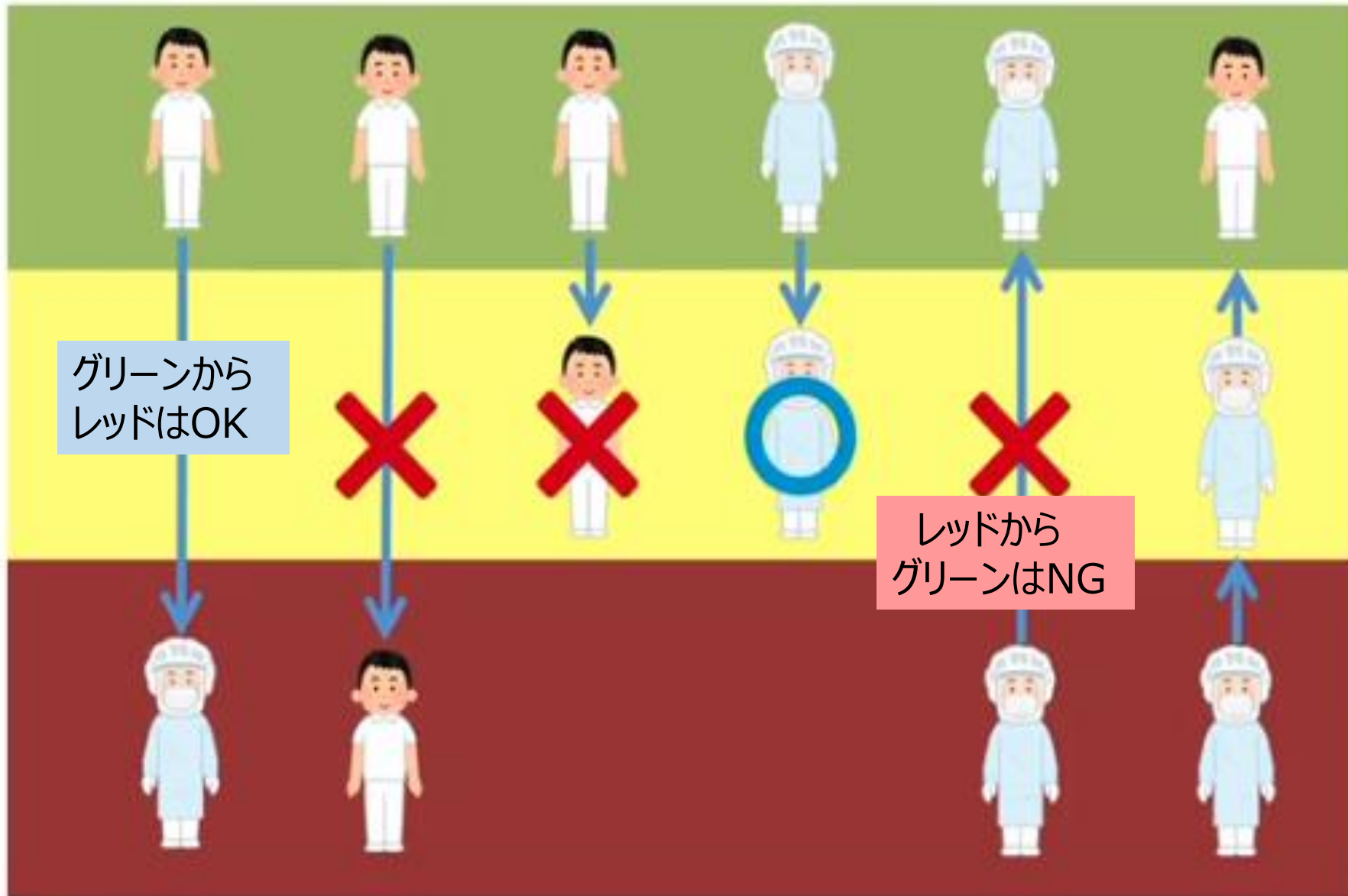
サージカル
マスク

PPEを脱ぐ
ためのエリア

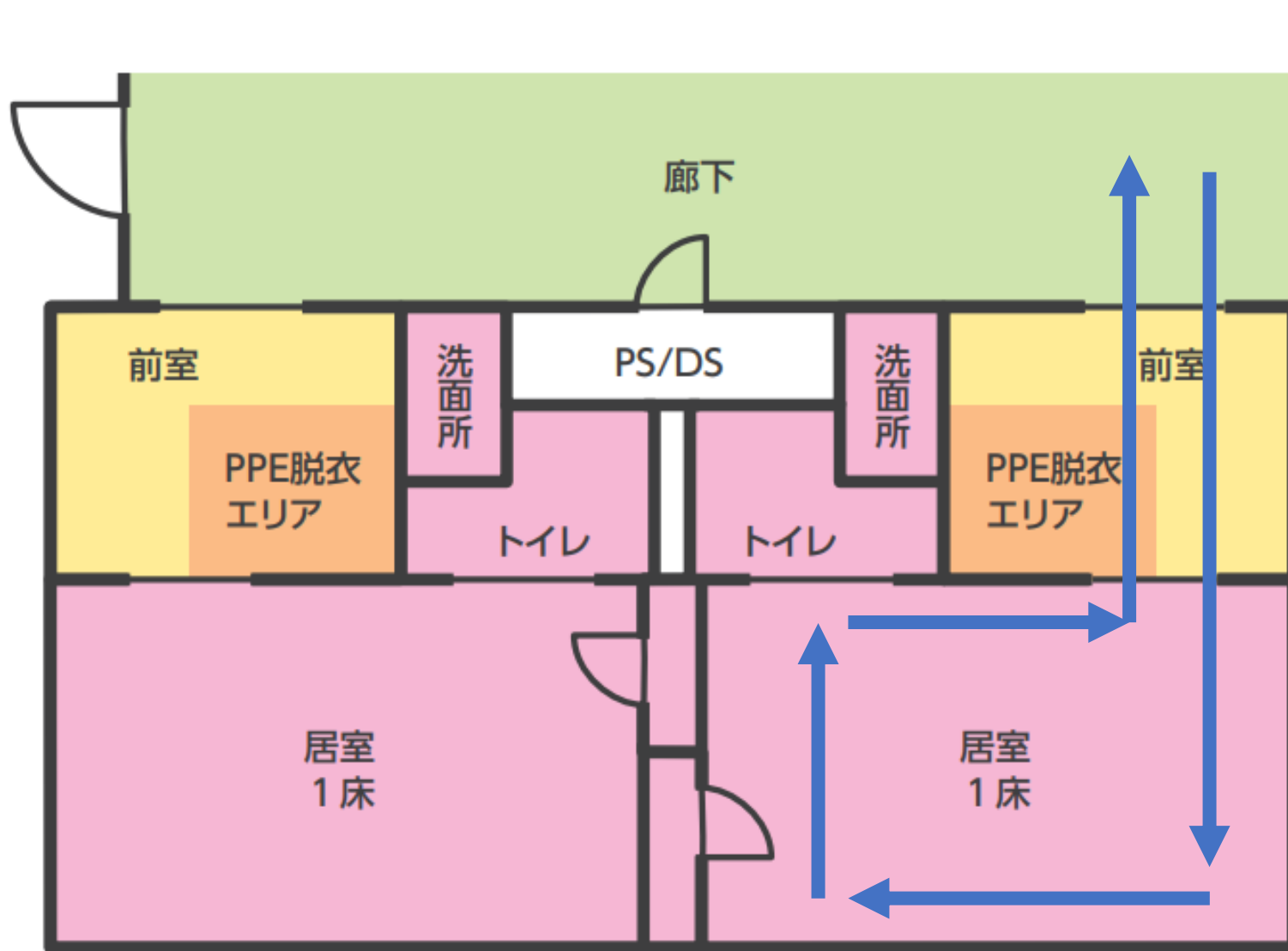
サージカル
マスク



各ゾーンの考え方



陽性者が一人発生：前室あり



グリーンゾーン

- 着用順写真を表記
- PPE（ガウン・手袋・マスク目の保護具）と姿見を設置
- アルコール消毒設置

イエローゾーン

- 足踏みゴミ箱とアルコール消毒の設置

グリーンゾーンの作りかた



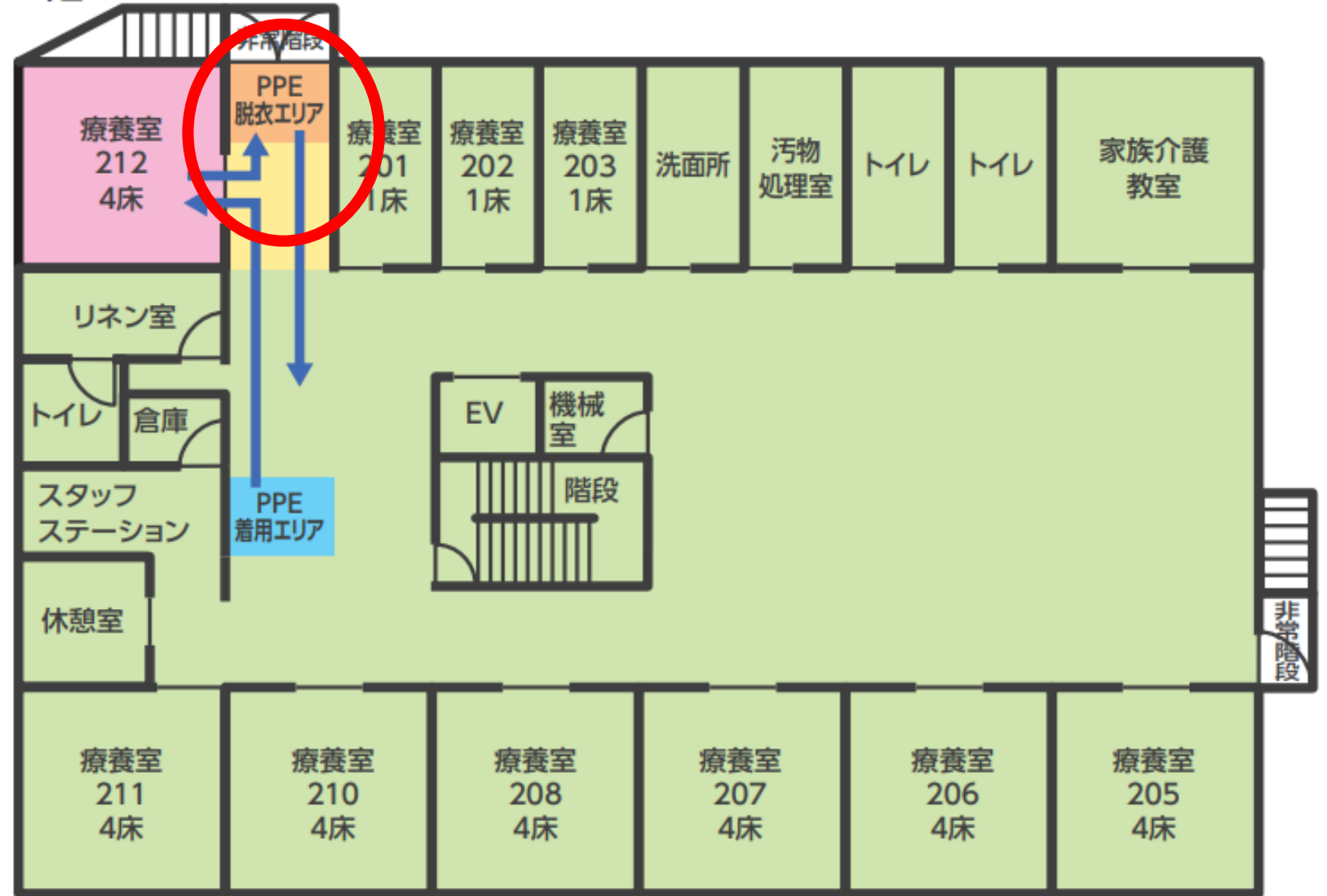
陽性者が一人発生：前室なし

注意

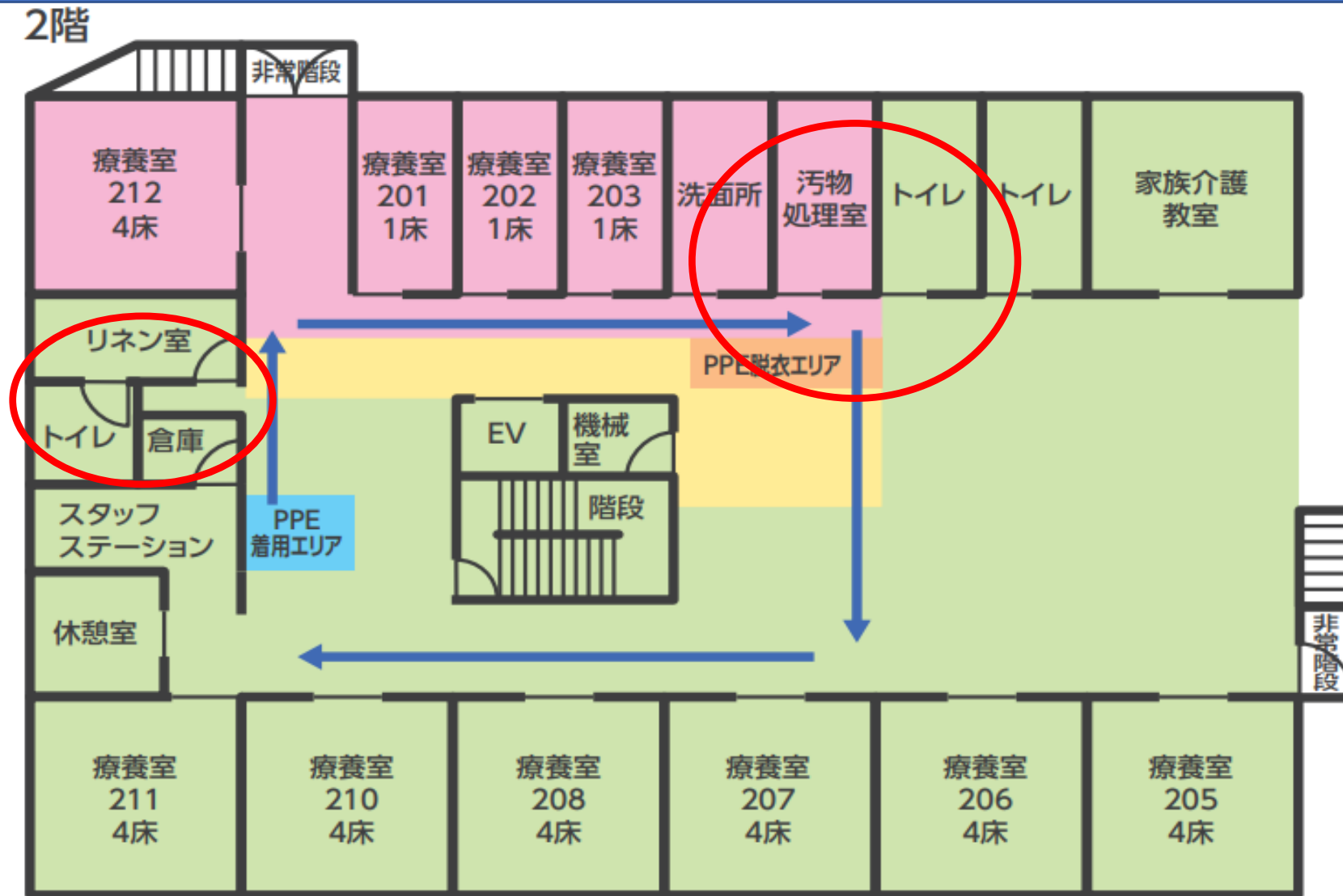
利用者がゴミ箱を
触れないような場所



2階



陽性者が複数名発生



検討すべき点

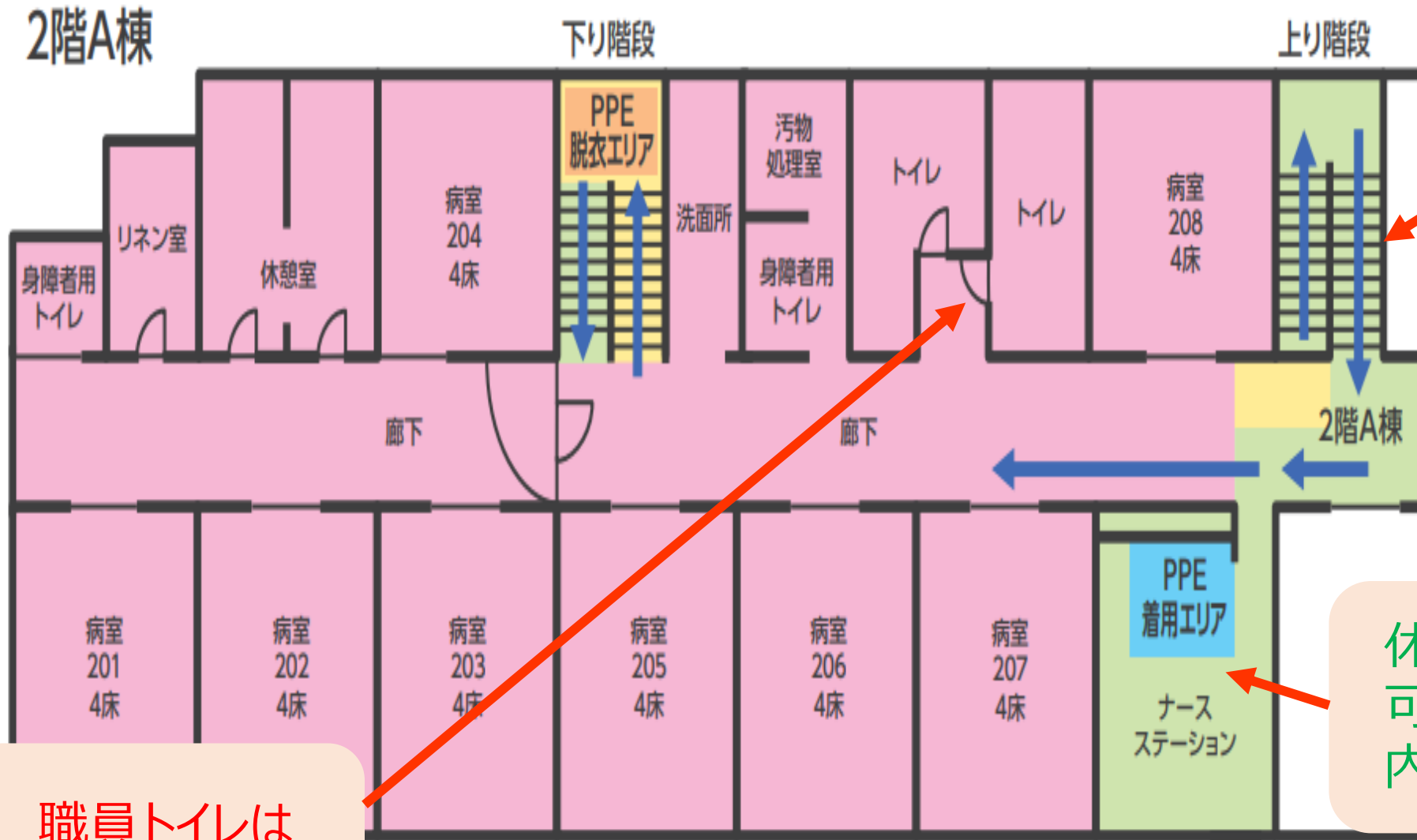
各ゾーンの洗面所や汚物処理室・リネン庫はどこに設定するか？

ゴミや配膳の導線はどうか？

複数の部屋をまたぐ場合

2重手袋の外側
ガウンの上からエプロン
を交換する対応でもOK

ワンフロア全体をレッドゾーン



職員の昇降は
どうするか？

職員トイレは
どうする？

休憩室や事務所は
可能な限りグリーンゾーン
内に設置する

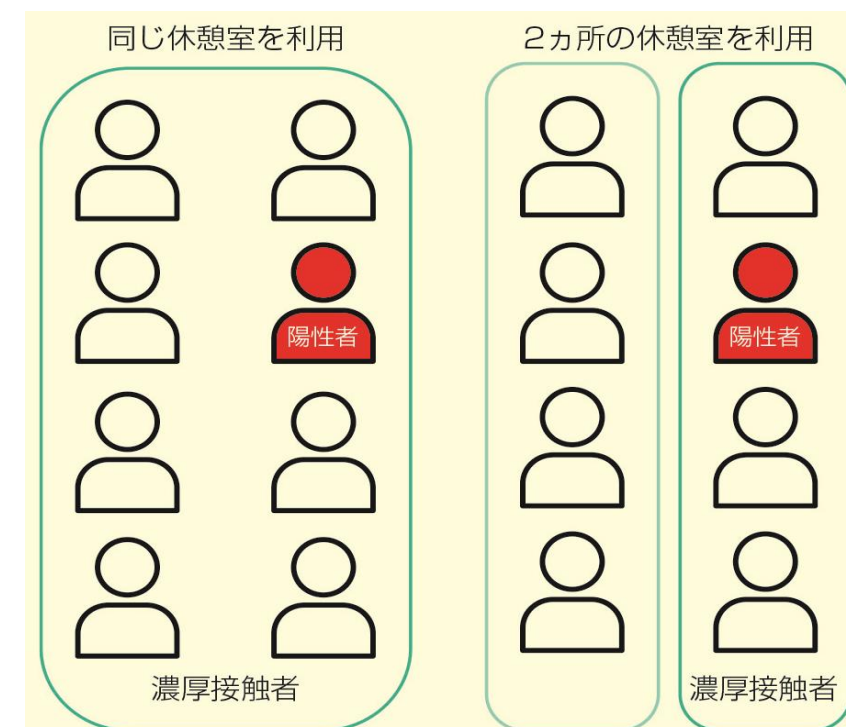
4・陽性者が発生した時の初動

陽性者が発生した時の初動

項 目	具体策
保健所・嘱託医に報告	<input type="checkbox"/> 指示に従う
陽性者を隔離	<input type="checkbox"/> 担当スタッフの固定 <input type="checkbox"/> 陽性者の部屋移動と接触箇所のアルコール消毒
ゾーニング	<input type="checkbox"/> PPEの着脱指導と手技確認 <input type="checkbox"/> グリーンゾーンにPPE設置とアルコール消毒設置 <input type="checkbox"/> イエローゾーンに足踏みゴミ箱とアルコール消毒設置 <input type="checkbox"/> 職員が目視しやすいように床にテープを貼る <input type="checkbox"/> 職員トイレ、更衣室、休憩室を分ける
濃厚接触者の洗い出し	<input type="checkbox"/> 濃厚接触者部屋の構成 <input type="checkbox"/> フルPPE対応 <input type="checkbox"/> 複数名の時は同室隔離でも可 (ただし、手袋、ガウンは利用者ごと交換する) <input type="checkbox"/> 外部の作業所等への行動歴

レッドゾーン病棟の取り扱い

1. 可能な限り個室に滞在してもらう
➡ 食事も個食対応を検討
2. グリーンゾーンへの物品の持ち出しの禁止
レッドゾーンの物品は固定（体温計や筆記用具など）
PHS・iPad・鍵の取り扱い
3. 入浴の中止の検討 ➡ 清拭対応
4. レクリエーションや入所者同士の交流中止
5. 職員の固定



レッドゾーン部屋の取り扱い

1. フルPPE着用 (マスク・袖付きディスポガウン・フェイスシールドなど目の保護具)

- ☑ キャップ、フットカバーは必須ではない。
施設で検討

2. 換気

- ☑ 部屋で介助やケアをする時は窓を開ける

3. 掃除

- ☑ アルコールや表面活性剤で高頻度接触面清掃

4. ごみの取り扱い

- ☑ ごみ廃棄会社に連絡し、従う
- ☑ 一旦、所定保管場所で72時間保管も可 (ただし、日付をしっかり記載)
- ☑ ごみ外袋をアルコールで拭き上げ ➡ **グリーンゾーンスタッフ**



食事の取り扱い

食事

☑ 可能な限り個食対応

- ➡ 集団で食べる際は、利用者同士の間隔を十分に
- ➡ 介助時はPPE着用（目の保護具・ガウン・手袋）
利用者ごとの手袋交換とアルコール消毒
- ➡ 食事中は窓を開け換気
- ➡ 職員は同じ部屋で食べない

☑ 食器の取り扱い検討（ディスポ化？）

洗濯・リネンの取り扱い

洗濯

- ☑ 洗濯業者に連絡し、取り扱いの相談
- ☑ 陽性者（レッドゾーン）の洗濯する際はPPE着用して（目の保護具・ガウン・手袋）洗濯機に投入する

リネン

- ☑ リネン業者に連絡し、取り扱いの相談
- ☑ リネン庫内は清潔に保つ（できたらグリーンゾーンに）
- ☑ リネン交換の頻度を施設内で検討

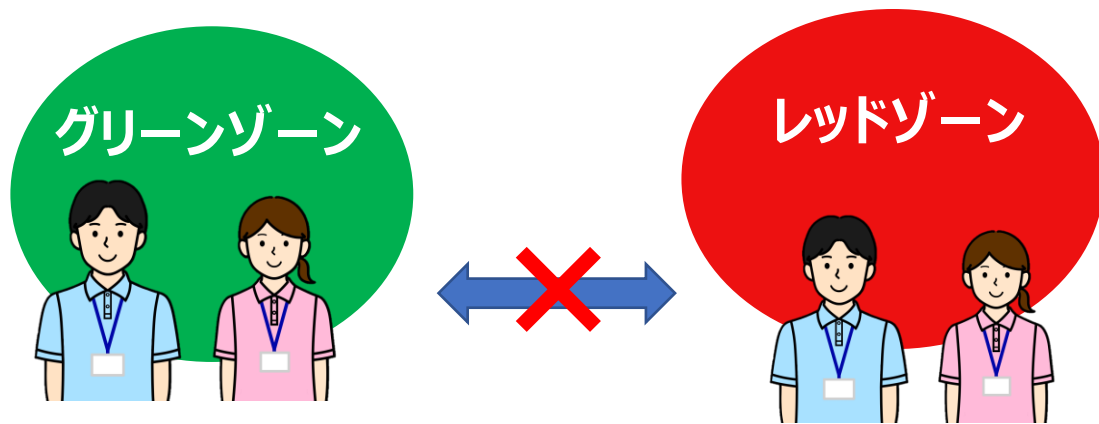
物資について

- ☑ 平時よりPPE（袖付きガウン・サージカルマスク・手袋・目の保護具）の備蓄をし、在庫管理をおこなう
- ☑ 物資が少なくなってきたら早めに注文する
- ☑ 同じ法人内にPPE供給をお願いする
- ☑ それでも足りない場合は、行政機関に相談

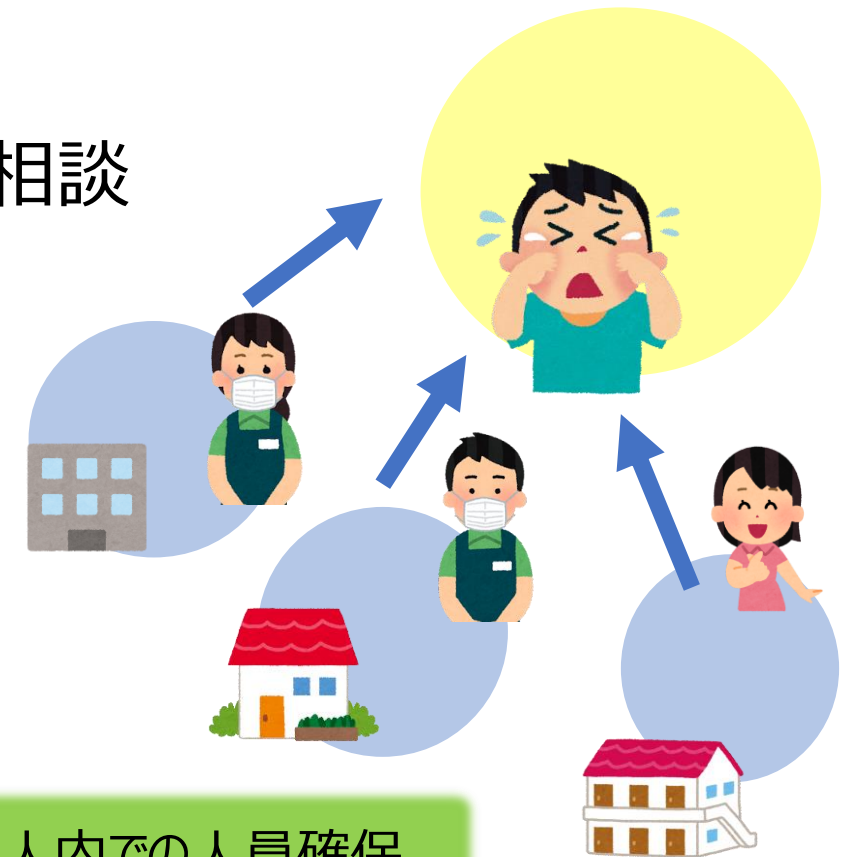


職員確保と業務内容の調整について

- ☑ 感染者や濃厚接触者となること等で職員の不足の可能性
➔ 施設内の勤務調整や応援職員要請により人員確保を行いましょう。
- ☑ 提供可能なサービス、ケアの優先順位を検討
- ☑ B-ICAT（びわこ感染制御支援チーム）に相談



- できるだけスタッフ固定
- 休憩室・更衣室を別に



法人内での人員確保

(参考) 優先業務の考え方

優先順位の基準	生命を守るため必要最低限	減少・休止	ほぼ通常、一部減少・休止
食事介助	必要な方に介助	必要な方に介助	必要な方に介助
排せつ介助	必要な方に介助	必要な方に介助	必要な方に介助
入浴介助	清拭	一部清拭	一部清拭
機能訓練等	休止	必要最低限	必要最低限
洗濯	必要最低限	必要最低限	必要最低限
シーツ交換	汚れた場合	順次、部分的に交換	順次、部分的に交換

医療の提供について

「経口抗ウイルス薬」について

(令和4年2月10日時点情報)

- ✓ 新型コロナウイルス感染症患者に投与できる治療薬（飲み薬）のことです。
- ✓ 現在「モルヌピラビル」（ラゲブリオ）、「ニルマトレルビル／リトナビル」（パキロビッドパック）※が特例承認されています。
- ✓ 重症化リスク因子（高齢、基礎疾患等）を有し、**医師が必要と判断した方**に対して処方されるものです。
（注）無症状の患者の方には投与できません。
- ✓ **陽性判明後速やかに投与**できるよう、迅速な体制が必要です。（発症日から5日以内に投与）
- ✓ 経口抗ウイルス薬を処方する場合は、**薬剤ごとに「登録センター」への登録が必要**になります。

（※）承認直後の試験運用期間においては、都道府県の病床確保計画に基づき報告されている、新型コロナウイルス感染症患者受け入れ確保病床を有する医療機関（※）以外の施設での処方はできません。

服内により対象者が異なりますが、COVID-19陽性者発生時、すみやかに処方してもらえるよう、事前に囑託医に確認しておきましょう

5・おわりに

平時からの教育

1・職員への教育

- 1) 感染教育研修会 2回/年?
- 2) 感染対策委員会や感染担当者の設置?
 - ➡ 個人防護具着脱の定期研修
 - ➡ マニュアルの改訂と職員への共有・周知
 - ➡ 定期的に施設内ラウンド

2・感染症（疑い含む）発生時の命令系統の明確化

- ➡ 夜間・休日についても



メンタルヘルス

利用者の感染予防にも細心の注意を払いながら、日々の業務にあたり、大きな心理的ストレスを抱えておられると思います。
1人でため込まず、上司に相談したり、相談窓口を利用しましょう

眠れない、生きていることがつらい、しんどいという方は

「こころのサポートしが」

 **LINE 相談**

右のQRコードから友だち登録を待っています!

令和3年5月10日(月)～令和4年3月31日(木)
毎日 16:00～21:00



「自殺予防電話相談」

 **077-566-4326**

年末年始を除く 9:00～21:00

「滋賀いのちの電話」

 **077-553-7387**

金～日 10:00～22:00



ご清聴ありがとうございました

参考文献

- 1) 2021年11月22日 医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド 第4版 一般社団法人 日本環境感染学会
- 2) 厚労省新型コロナウイルス感染症Q&A・新型コロナウイルス感染症に対する感染管理改訂 2020年6月2日国立感染症研究所国立国際医療研究センター国際感染症センター
- 3) INFECTION CONTROL別冊 高齢者施設&療養型病院“誰でもわかる”感染対策 マニュアル 2021年10月1日発行
- 4) 新型コロナウイルス感染症 COVID-19診療の手引き 第5版 2021年5月17日現在
- 5) 障害福祉サービス施設・事業所職員のための感染対策マニュアル（入所系）
- 6) 個人用防護具の手引きとカタログ集 教育用の図表抜粋 一般社団法人職業感染制御研究会 J R G O I C P
- 7) 公益社団法人全国老人福祉施設協議会 ホームページ
- 8) 厚生労働省老健局：介護職員のための感染対策マニュアル（施設系）令和3年3月
- 9) 高齢者施設・慢性期病院におけるゾーニングの手引き, サラヤ